

▷ contents.

平成19年度町政執行方針 2

はぼろ学講座(9) | はぼろ検定が行われました 10

羽幌町都市計画マスタープラン 14

こんにちは保健師です | 赤ちゃんと遊ぼう! 15

地産地消レシピ | カレイのソテートマトソース 16

情報プラザ | ほっと号がメロディバスに ほか 18



はじめに

私は、町長就任以来、2期8年間、これまで一貫して町民の視点に立ち、町民協働のなかで、「心と心をつなぐ活力あるはぼろ」を目標としたまちづくりに取り組んでまいりました。

私にとりまして平成19年は3期目の町政に向けて、町民のみなさまから寄せられた大きな期待を受けての本格的なスタートとなりますが、自治体を取り巻く環境の厳しさを踏まえ、これまで先人が築き上げてきた町の基盤を継承し、希望の持てる元気な未来づくりのため引き続き、町議会、町民のみなさまのご支援、ご協力を頂き、力を尽くして取り組んでまいります。

情報通信技術などの高度化は、社会生活、産業構造等に大きな変化と経済のグローバル化をもたらしましたが、21世紀は「環境の世紀」として、深刻化する地球温暖化に伴う環境問題への対応が急がれるなか、わが国においては確実な人口減少時代

協働のまちづくりの取り組み

公共サービスやまちづくりは、行政単独で進めていくことは出来ない時代です。町民や町内会、各種団体など、「住民が自ら考え、行動する」住民活動が経験を積み重ねており、公共サービスの新たな提供者としての果す役割が増しております。「自助」「共助」「公助」によるまちづくりには、協働参画のパートナーである町民の役割が大きな力となります。今後も、町民が積極的にまちづくりの意志決定に参加できる情報の共有化や町民協働できる制度などの検討も進め、町民の自主的な活動への環境づくりと支援を進めてまいります。

広域連携の取り組み

厳しい財政環境のもとでは公共サービスの効率化が求められるため、今後益々広域的な取り組みが必要と考えます。現在、留萌管内市町村中部3町村において研究が進められております広域事務事業については、財政の効果的投資や公共サービスの向上等から近隣自治体との広域連携に積極的に取り組んでまいります。



平成19年度 町政執行方針

羽幌町長 舟橋 泰博

の始まりと少子高齢社会という困難な課題に直面しております。成熟社会の進行に伴い、人と人との関係や地域社会の関係の希薄化がもたらす課題への対応など、身近な課題から地球規模の課題への取り組みが求められております。

さらに、国の行政改革により地方交付税等の削減が続いており、国と地方をはじめ様々な分野での社会的格差が拡大するなかで、自治体運営も厳しさを増しております。

特に、景気の回復が遅れている北海道においては公共的投資事業をはじめ、補助金等大幅な歳出削減によ

行財政運営の健全化

地方財政の根幹をなす地方交付税補助金などの削減、また、景気の低迷から税込確保にも影響が大きくなり、厳しい財政運営が続いております。

これまでも行財政改革に早くから取り組み、コスト意識の徹底、民間委託、指定管理者制度の活用、職員定数の減による総人件費の抑制など事務事業の簡素、効率化を積極的に進めてきたところであり、公共サービスのニーズも多様化しておりますことから町民の期待に応えるため、民間参入やコスト意識を念頭に財政基盤を強化し、町民福祉の向上を図ることが私の責務と考え、町政執行に努めてまいります。

まちの活性化への取り組み

わが町も人口減少と少子化が進むなか、高齢者人口が3割を超え、高齢者中心の社会を形成しつつあります。「元気なまちづくり」「暮らしやすいまちづくり」「安心安全なまちづくり」は、私の念願であり、責務であると考えております。

ひとり一人が持てる能力を發揮で

る財政健全化の取り組みにより、自治体もその影響を強く受けております。先に示された新法下での市町村合併構想も残すところ3年となり、協議合意の展開には困難な状況であります。小規模自治体としてどのように基盤を確立していくのが望ましいのか、大きな行政課題と認識を新たにし町政を進めてまいります。

私は、羽幌町総合振興計画「ほっとプラン21」をまちの将来像の基本理念として位置づけ、「地域の自然が育む豊かなまち」「誰もが居場所と生きがいを持って暮らせるまち」「安心で魅力的な田舎暮らしができるまち」

きる地域づくり、人づくりがまちの活性化に大きな役割を果たすことから、今後も地域間交流や世代間交流など人と人の交流を図り、地域の活性化の取り組みに対して積極的な支援を進めてまいります。

以下、19年度予算の主な施策について申し上げます。

自然環境

「はぼろ」は、雄大な自然環境が多くの人々に恩恵をもたらす、有効的に活用されております。このかけがえのない豊かな自然環境と共存していくため、自然のしくみを再認識し、環境に配慮したまちづくりを進めてまいります。「地域の自然が育む豊かなまち」「豊かな自然環境を守るまちづくり」への歩みをより具体的なものとしていくための取り組みに意を注いでまいります。



の大きく3つの目標掲げておりますが、3期目の町政を担うにあたり「8つの目標と63の約束」の確実な実行と自立に向けたまちづくりを議会、町民のご理解、ご協力を得ながら町政執行に取り組んでまいります。

自立に向けた取り組み

合併によらない「自主と自立のまちづくり」を選択し、18年度に策定いたしました「自立プラン」に基づいた取り組みを進めていくこととなりますが、これまでの公共サービスを継続することは厳しい状況となります。「自分達のまちは自分達でつくるといって自治の基本理念を、地域の中で今一度認識を新たにしておく必要があります。地域、家庭、団体、企業、行政の役割分担を明確にしながら地域の人々が「自ら考え」「自ら判断し」「自ら責任を持つ」地域主権型を目指し、個性と創意工夫を図りながら取り組んでまいります。

昨年制定しました「羽幌町環境保全条例」、「羽幌町の環境を守る基本計画」の趣旨が広く町民のみなさまにご理解いただけますよう普及啓発に努めてまいります。昨年は、環境を守る町民の行動指針「はぼろスローライフ計画」の普及・実践する町民組織として「羽幌環境会議」が発足し、福寿川の水質浄化事業や「プリンせっけん」の普及運動、まちあかり運動などが引き続き実践されております。環境を考える住民意識の醸成と普及啓発に、町民と行政が一体となって取り組んでまいります。

北海道海鳥センターは、豊かな自然と生きものと共存する意識の普及啓発を進めるため、館内展示だけではなく、ジュニアレンジャーなどの活動を通して住民参加の裾野を大きく広げてきています。

そのほか、子供たちが自然と触れ合つことのできる機会を増やすための努力、国定公園天売焼尻の自然を再認識できる事業などを行ない、日本で唯一の海鳥専門施設として独自性を発揮し、自然保護思想の普及啓発活動の拠点施設として、今後とも環境省や北海道、関係団体等と連携し運営してまいります。

都市計画

町民のみながまが安全に快適な生活を送れるよう、そして地域の経済や社会の発展を支えるため、計画的にまちづくりを進めることを目的としてまいります。

まちづくりの理念を「心と心をつなぐハートコミュニケーションはぼろ」とし、基本目標を定め、その実現を目指してまいりました。本年度実施する都市計画マスタープラン策定事業は、「ほっとプラン21」や北海道が定めた「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に即した計画的な土地利用、港湾をはじめとする都市施設の配置や景観づくりなど、町民や事業者と行政が、協働でまちづくりに取り組むためのよりきめ細やかな、羽幌町の将来のあるべき姿を長期にわたり持続可能な都市計画の基本方針として策定するものであります。

高齢者福祉

本町も少子高齢化が進み、65歳以上の人口は31.7%となり、高齢社会の時代を迎えております。第3期老人保健福祉計画及び介護保険事業計画の理念のもと、民生委員、町内会、ボランティアなど地域住民のご協力とご支援を頂きながら、高齢者のみなさまの自立と社会参加の支えとなる生活支援事業や生きがい対策事業を継続的に進めるとともに、老人クラブや高齢者事業団を始めとする高齢者の自主的な活動を支援してまいります。

特別養護老人ホーム「しあわせ荘」は、昨年度から、社会福祉協議会を指定管理者として管理運営をしておりますが、引き続き、民間事業者の活力や資源を生かし、さらなる住民サービスの向上と、施設の効果的活用や効率的運営を図ってまいります。施設の老朽化に伴う建替については、町民による福祉施設検討会の協

平成19年度町政執行方針

議を経て、現在、議会産業厚生常任委員会でご意見を伺っており、19年度早期に方向を決定してまいりたいと考えております。

介護保険事業では、介護予防サービス事業の充実を図るため、「地域包括支援センター」を核として、要支援認定者や特定高齢者の実態把握と、関係者による地域ケア会議等を充実させ、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、包括的・継続的な支援を進めてまいります。

さらに、65歳以上の夫婦世帯やひとり暮らし世帯が増加しており、平成18年に設置した「羽幌町地域見守りネットワーク会議」を通して、高



者の日常生活や災害発生時における支援体制づくりを進めてまいります。

保健事業

保健予防活動の果たす役割は、町民のみながまが心身ともに健康で、生涯にわたる自立と社会参加を可能とし、「健康寿命」を伸ばすための環境を整備することにあります。

特に、肥満、糖尿病、高血圧症などを要因とする生活習慣病は、日常生活の改善が最も基本的な予防対策であり、平成20年度から市町村において、40歳から74歳までを対象とした「特定健診・保健指導」がスタートしますが、国の基本指針が示され次第、「特定健診等実施計画」の策定や円滑な実施に向けた体制づくりを進めてまいります。

また、母子保健事業の推進や各種健診事業、食生活改善事業、温泉を活用した健康増進など、一次予防に重点を置いた事業を積極的に進めてまいります。

発達障がいを持つ子どもが増加傾向にありますが、乳児健診等を通じた早期発見と、「子ども発達支援センター（にじいろ）」を核として子ども

の療育支援、家族への支援、幼稚園・学校等関係機関との連携など、児童の健全な発達に努めるとともに、発達障がいに対する地域住民の理解を深めてまいります。

健康は町の財産であり、「だれもが健康で暮らすことができるまちづくり」に向け、地域関係者との積極的な連携を図り、町民の自主的な健康づくり活動への支援や啓発などを進めてまいります。

地域医療体制の整備

道立羽幌病院が、病床数120床、診療科目12科となり、診療機能の充実が図られました。18年10月から産婦人科医師の派遣中止に伴い分娩の取扱いが休止となり、19年4月からは、常勤医であった整形外科、小児科が派遣医師による診療体制になるなど、地域住民に大きな不安を与えております。二次医療を担う地域センター病院として、常勤医師の確保など医療機能の充実強化に向けて、

引き続き関係機関に強く要請してまいります。

また、18年12月設置された「留明中部・北部地域医療連携運営協議会」を通して、圏域における医療の向上や、地域住民の意見が反映されるよう努めてまいります。

障がい者福祉

18年4月「障害者自立支援法」が施行され、障がい福祉サービスの一元化や障がい者の就労支援、利用したサービス量に応じた公平な費用負担、市町村における地域生活支援事業などが始まったところであります。

19年4月からスタートする「ほろ障害福祉計画平成19年～20年度」の基本理念であります。「障がいのある人もない人も共に生き生きと生活できるまちづくり」を念頭として、地域住民や関係機関、団体等の理解と協力を得ながら、障がいを持つ人が身近なところで、公平で適切な



サービスを利用でき、選択の幅が広がることによつて自立と社会参加が進むよう積極的に支援してまいります。

児童福祉

少子化の進行は、次代を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つ環境にも大きな影響を与えておりますが、「ほろ次世代育成支援行動計画」の基本理念のもと、子どもたちの健全な成長と子育て支援に視点を置いた取り組みを進めてまいります。育児支援として実施している「每くさび」や「子育て支援センター」は、今後、も内容の充実を図り、育児不安や悩み、の解消など、若い親に対する子育て支援を進めてまいります。

児童虐待や養育の放棄など、子どもをめぐる様々な問題が発生しておりますが、防止と早期発見、迅速で的確な対応を図るため、関係機関・団体等による「子育て支援ネットワーク」を充実させるとともに、児童相談所など専門機関との綿密な連携により必要な措置を講じてまいります。

また、保育所の改築については、引き続き「児童福祉施設検討委員会」

で協議を進め、19年度中には方向を示したいと考えております。

児童に携わる福祉、教育等関係機関・団体等の連携を一層深め、「子ども・子育てにやさしい羽幌町」の実現を目指してまいります。

国民健康保険事業

長引く不況の影響で加入者全体の所得が低下し、それに見合った課税総額も減少しております。

一方、保険給付については、国保加入者の高齢化が益々進み、かかりつけ医を持たずに幾つもの病院を受診する「多受診」や、同じ病気で複数の病院を受診する「重複受診」は依然として見られ、糖尿病を始めとする「生活習慣病」による医療費の増加も多くなっております。

平成20年度から、現行の老人保健制度に代わる新たな医療制度として、75歳以上を対象とする「後期高齢者医療制度」がスタートしますが、国保税の改定や公的年金からの特別徴収制度の導入など、国保加入者の急激な負担増に繋がらないよう配慮しつつ、今後も健全な保険財政の運営に努めてまいります。

広報広聴

町民のみなさんと行政が協働でまちづくりを進めるためには、行政の持つ情報を共有することが欠かせないことから、「広報はぼろ」やホームページを活用し、正確でわかりやすい情報提供に努めてまいります。

地域の問題把握と情報の速やかな提供を図るため、全方面区に職員の配置をしております。方面区(町内会)担当職員制度は、効果的で実効性のあるものとするため、新年度には新たな体制を整え地域住民との情報共有とコミュニケーションを図ってまいります。

人づくり事業

この事業は、地域づくりのリーダーとして資質を備えることのできる人づくり、国際化社会における豊かな感性と幅広い視野を備えた人づくり、地域の活性化に関連する人づくりなどの事業を行う個人、団体に

業の生産性の向上や多面的機能を有しており、施設機能の適切な維持管理を図ってまいります。

畜産振興につきましては、畜産担い手育成総合整備事業も3年目を迎え、安全で高品質の牛乳を低コストで安定的生産する体制が急務として、酪農経営の確立に向けた取り組みを引き続き推進してまいります。

焼尻めん羊事業は、運営コスト面等が課題とされ検討を重ねてまいりましたが、本町観光の一端を担うとともに道内外における資質の評価や知名度が高いことから、更にブランドの定着化と生産性の高い効率的な運営を行うため、民営化を視野に入れた事業の推進を図ってまいります。

水産業の振興

北るもい漁業協同組合が誕生して3年を経過しましたが、この間、組合の販売取扱高は初年度50億円、次年度57億円、そして平成18年度61億円と着実に伸び、計画に即した組織基盤強化が図られてきたところであります。

対し費用の一部を助成するものであります。

「まちづくり」は「人づくり」であるとの基本理念のもとに今後とも人づくり事業を積極的に支援してまいります。

農林業の振興

農業、農村の情勢は、農産物輸入増加などの競争が進む中、農畜産物の価格は依然として低迷が続く、厳しい農業経営を強いられる状態となっており、また、これからの農業・農村を育ていく担い手の育成・確保の取組みが課題となっております。

平成19年度から国の経営所得安定対策等大綱で、担い手をはじめ、法人化や集落営農への明確な支援対策として、米生産調整支援対策事業「品目横断的経営所得安定対策事業」がスタートすることから、本町でも取り組んでまいります。

しかしながら個々の漁家経営は、魚種や地域によって明暗が分かれ、依然として魚価不安や燃油高、資源の減少によって厳しい情勢が続いています。そのため漁業経営の安定と水産資源の持続的な供給を目的とする栽培漁業の取り組みは重要な課題であり、本年度も栽培漁業羽幌センターが供給するヒラメ、ニシンの種苗放流事業に協力し、羽幌町ウニ種苗センターで行われるヒラメの中間育成事業にも協力しながら、資源の維持増大に努めてまいります。

また、浅海資源の維持増大に関しては、引き続き離島漁業再生支援交付金を利用する中で、漁場管理などを行い離島の活性化を図ってまいります。

平成19年度町政執行方針

設整備事業」として、本町の米の産地形成及び稲作農業経営の維持発展を図るため、支援してまいります。

昨年より試験栽培を行っている「ピルベリー」につきましては、新たにロシア産とオーストラリア産の種子が届けられたことから、本町の気候に適するかどうかの播種等の試験栽培を引き続き行ってまいります。

林業の振興につきましては、環境の保全や災害防止の働きを持つ森林の重要性が、地球規模で強く叫ばれてきており、地球温暖化問題や身近な自然などへの関心の高まりから二酸化炭素の吸収源や野生動物の生息・生育の場としての森林機能が重視されている今日、森林の有する公益的機能の発揮と、産業として希望の持てる林業の確立に向けて森林整備に取り組んでまいります。

農業・農村整備事業につきましては

さらに、日本海沿岸に來遊するトドによる漁業妨害が深刻化している状況から、被害を受けた漁業者に漁業協同組合が共同利用事業として貸与する刺網購入費に対し、引き続き支援を行ってまいります。

北るもい漁業協同組合の生産基盤強化につきましては、合併の振興計画で予定されていた苦前の水産鮮度保持施設に対し、関係町村の一員としての助成を行ってまいります。

商工業の振興

日本経済は、「いざなぎ景気を超える好景気」といわれておりますが、地方においては中小企業の倒産が増えるなど、地域間・企業間格差がより拡大

は、農地・農業用水等の資源が、過疎化や高齢化等の進行に伴う集落機能の低下により、適切な保全・管理が困難となってきました。

平成19年度から始まる「農地・水・環境保全向上対策」は、これらの資源の適切な保全管理を行うとともに、農村環境の保全等、効果の高い取り組みを行う共同活動組織に対して支援をし、農業基盤の保全と質的向上を図ってまいります。

農業水利施設の羽幌二股ダム及び羽幌ダムに係る関連施設の維持管理であります。水利施設は、地域農



大してあります。

本町の商工業を取り巻く環境も依然として厳しく、課題が多くある中で、創意工夫と自助努力により業況が早期に改善されることを願うものであります。本年5月に「社会人野球大会」、10月には「北海道観光大会」など、全道規模の大会が開催されますことから、その波及効果が期待をいたしているところであります。

平成14年に策定した「羽幌町中心市街地活性化基本計画」に掲げた各事業の方向性につきましては、その効果や実効性・将来性等を見極めつつ、引き続き検討を進めるほか、「まちなか」への集客を高めるため、既存の商業複合施設や空地・空き店舗等を有効活用した取組みを促進し、「コンパクトでにぎわいのあるまちづくり」に向け、関係機関と連携を図ってまいります。商工関連施策につきましては、商工会の経営改善普及事業をはじめとした各事業への支援と、各融資制度を継続してまいります。

観光振興

本年は、「日本一の味覚!ウニまつり」を焼尻では名称を「焼尻めん羊



祭り」に、天売については開催時期を8月第1週に変更するほか、「ウトウウォッチングツアー」が民間事業者の主催で6月に3回予定されており、離島観光客の増加に期待をするものであります。

また、STVラジオのパーソナリティーとして活躍する傍ら、羽幌町観光大使として日頃から本町の情報を発信している、「みのや雅彦」さんらによる「フォト&ミュージックライブ」が6月に開催される予定であり、まちのPRと集客効果に期待を寄せているところであります。

一方、苫前町・羽幌町・初山別村の観光協会を構成メンバーとする「日本海えびタコ街道協議会」が昨年発足し、日本海で常に食べることが出来る美味しい「えびやタコ」のPRと、独自料理の考案に取り掛かり、現在「日本海えびタコ餃子」の商品開発が進められているところであります。今後も、三町村の連携による各種研修や大会等の誘致と、関係施設や観光資源の情報発信についても全力

を注いでまいります。

労働対策

雇用を取り巻く環境は、好景気や団塊世代の大量退職等で回復基調にありますが、道内の完全失業率は全国と比べ高く推移しており、昨年12月で5.4%となっております。

また、留萌管内における昨年12月末時点での有効求人倍率は0.41倍、就職を希望する高等学校卒業予定者の内定率は60.2%で、いずれも前年同期を下回るなど、依然として厳しい状況が続いております。

雇用の創出については、国や北海道の既存制度を有効に活用すべく、積極的な情報提供に努めるほか、冬期雇用の確保や失業者対策につきましても、引き続き関係機関に要請してまいります。

平成19年度町政執行方針

町営住宅

羽幌町の公営住宅は実質管理戸数490戸のうち約半数以上が築30年を超えており、用途廃止又は建替えが必要となっております。高齢者や子育て世代も安心して暮らせ、多様なニーズに対応できる利便性の高い定住環境を整備するため、公営住宅マスタープラン・ストック活用計画を策定しました。これは老朽住宅の建替えを柱として民間住宅の促進策も視野に入れた地域住宅計画であり、今後はこの計画に基づいて公営住宅整備を進めてまいります。

平成19年度は朝日団地に木造平屋建5棟10戸を建設し、建替え事業を円滑に進めるとともに、火災から入居者を守るため公営住宅全戸に火災報知器を設置、南町B団地簡易耐火平屋建4棟16戸を解体するなど、地域の住環境の安全と保全に努めてまいります。

港湾整備

港湾は本町の振興・発展を図る上で重要な施設であるほか、羽幌・天売・焼尻を結ぶ玄関口として貴重な役割を果たしており、将来の有効利用に向けた整備と、適切な維持管理に取り組んでいく必要があります。19年度につきましても、第10次港湾整備計画により、引き続き整備を進めてまいります。

羽幌港においては、港内静穏度の確保を最優先に、北防波堤延伸工事の継続と西防波堤の延伸を行うほか、継続中であります耐震岸壁の早期供用を図るため、岸壁の整備とその背後地の整備に着手してまいります。また、天売港においては、越波防止のため北防波堤の改良を継続して行ってまいります。

町内循環バス「ほっと号」

町内循環バス「ほっと号」は、医療機関への通院や健康増進のために

むすび

平成18年11月の任期満了選挙において、町民の皆様から無投票当選という温かいご支持を頂き、その責任の重さを痛感致しております。3期目の町政執行にあたり、今後取り組むべき私の基本的な考え方と施策について、これまで以上に厳しい状況を踏まえ、新たな決意のもとで申し上げます。

人口減少、少子高齢社会への変化は、今後のまちづくり、地域づくりに大きな課題であります。「自立と共生のまちづくり」に向け、公共サービスの水準を維持していくには、町民のみなさまへの直接的、間接的なご負担が大きくなるものと考えておりますが、「住んでいてよかった」「住みたくなるまち」を目指し、発想の転換、スピード、民間力の活用など職員ともども創意工夫を図りながら、今後4年間、町政の舵取りとして町民の負託に応えるため、初志貫徹の決意を持って、町民協働のまちづくりに一層の努力をしてまいります。

(平成19年3月12日第1回羽幌町議定例会抜粋)

はぼろ温泉サンセットプラザを利用するお年寄りなどの交通の足としてスタートしたものであります。

住民のみなさまに利用しやすい循環バスを目ざして、これまで運行時間変更や停留所の増設、移設を行うほか、「フリー乗降」の開始やサンタクロース号の運行などの改善を図って来たところであります。また、平成18年7月からは2ヶ月千円の定期券を発売するなどの新たな取り組みにより、利用者も増加致しております。今後も利用者ニーズを的確に捉え、地域の足として定着するよう努めてまいります。

水道事業

上水道事業では、平成15年度で終了した第7次水道施設拡張事業において、高濁度に対する施設整備や配水池の増設など、安全で安定した水道水の供給が確立されたところであり、今後は、施設の延命に重点をおいた水道事業を運営してまいります。



本年度から「上・下水道施設運転管理の一体化」による民間委託を導入し、業務の効率化、コスト削減による経営健全化を図ってまいります。

下水道事業

平成18年12月末の認可計画面積における進捗率は82%に達しており、また、水洗化率は41%となっております。

平成19年度につきましては、緑町及び北町地区を中心に引き続き污水管の整備を実施するとともに、市街

中心部におきましては、一部、雨水管の整備も実施いたします。今後も、快適な生活環境の提供と環境保全に寄与する下水道の整備を計画的に推進するとともに、水洗化率向上に向けたPR活動を積極的に行ってまいります。

ごみ処理

環境保全を目的とした資源循環型ごみ処理には、町民みなさまの意識も高く、分別も定着し収集も順調に行われております。住むまちを自ら美しく保つ、地域ぐるみでの清掃やポイ捨てごみゼロの住民運動に大きな期待をいたして、町民皆様の活動に対し、積極的に支援してまいります。

はぼろスローライフ計画の中でも提唱されている、環境に配慮した消費者を目指すため、マイバックを持ちレジ袋の使用を減らすなど、一人ひとりが1日数グラムのごみを減らす、自らがごみを減らす消費者であるという、町民の意識を高めていく努力をしてまいります。

lecture of haborogy
はほろ学講座

あなたはどれだけ
はほろのことを知っていますか？

第9回

はほろ学講座は「羽幌の成り立ち、自然・動植物、生活・文化を総合的に学び、羽幌町を訪れるお客様にまちを紹介出来る人材を育成すること」を目指しています



はほろ検定が
いよいよ実施されました

羽幌の魅力を紹介できる人材を育成することを目的に、昨年5月に開催された北海道じゃらん編集長のヒロ中田さんによる特別講演から始まったはほろ学講座。ほぼ毎月開催された講座は18回を数え、いよいよ3月29日にはその卒業試験とも言われる「はほろ検定」が、中央公民館で行われました。

請に応じて有料でガイドを行うことになりす。
今回出題された問題は、はほろの歴史・動物・植物など幅広いジャンルから20問、1時間の制限時間で20人が挑戦しました。7割以上正解で合格とのことですが、ほとんどの受験者がこのラインを超えたようです。はほろ学講座の修了式は4月下旬に行われる予定です。

なお、今月の広報はほろでは、はほろ検定で出題された問題を全文掲載します。ぜひみなさんも挑戦してみてください。
次回はいよいよ最終回です。

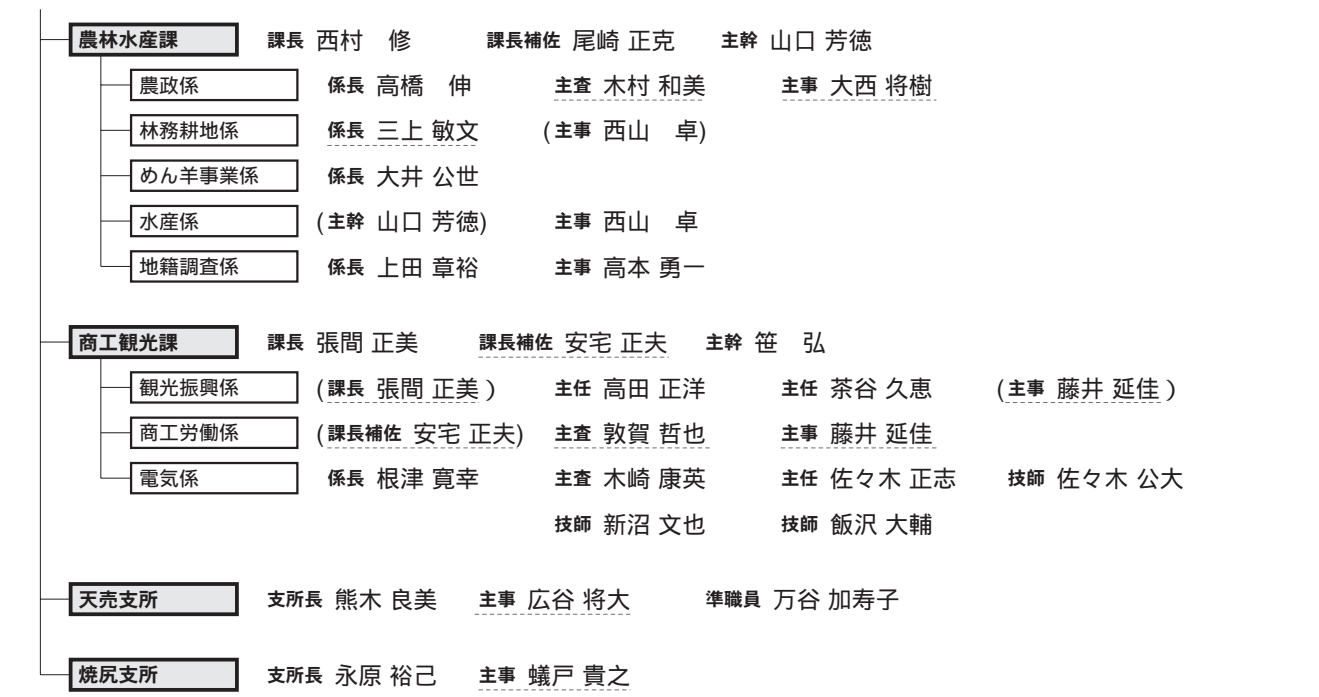
1 はほろ検定の受検風景。みなさん真剣な表情で取り組んでいます。終了後、問題の答え合わせを行いました。口々に「結構難しかった」との声が聞かれました。
2 3月19日の文化講演会は「はほろ学講座」としても開催されました。羽幌町の化石に非常に詳しい北海道教育大学木村方一名誉教授と一緒に研究を重ねてきた教員の方々が「古羽幌海の生物たち」と題して研究発表をしました。羽幌町から発掘された化石は、国内はもとより海外研究者からも高く注目されているそうです。
3 2月15日にはアンコール講座として、有田智彦さんが「バードウォッチングのすすめ」と題して再び講義を行いました。双眼鏡の選び方や有田さんが見つけた数々の鳥の写真と泣き声などが紹介されました。



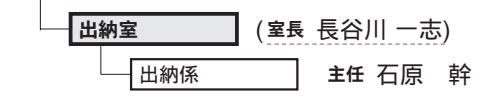
- 問1 羽幌町の歴史で元禄3年(1690年)にあったことは次のうちどれでしょうか。
松前藩士と鉦夫数十名が砂金堀りを始めた
苫前炭田の調査実施
福井・富山県などから約4000戸の団体移住者が入植した
- 問2 天売村は昭和30年に焼尻村は昭和34年に羽幌町と合併をしましたが、天売村・焼尻村は何年に誕生したでしょうか。
安政9年
明治9年
昭和9年
- 問3 天売島で繁殖するウミネコとオオセグロカモメの違いについて正しいものを1つ選びなさい。
オオセグロカモメは、天売島の海鳥のうちで食物連鎖の頂点に立ち、他の海鳥のヒナを襲って食う
ウミネコの方がひとまわり大きい
ウミネコよりオオセグロカモメの方が天売島での繁殖数が多い
- 問4 天売島における平成18年のウミガラスの飛来数はズバリ何羽でしょうか。
18羽
50羽
241羽
- 問5 誤っているものをひとつ選んでください。
ラノルド・マクドナルド
アーノルド・ケントッキー
キース・モス
- 問6 カモメの仲間に「ウミネコ」がいます。なぜネコと言われるのでしょうか。
ネコと同じく魚が好きだから
顔がネコに似ているから
泣き声がネコの声に似ているから
- 問7 天然記念物に指定されている焼尻の自然林のなかで、オンコとして親しまれている木の和名はどれでしょうか。
イチイ
エンジュ
グイマツ
- 問8 嘉永元年(1848年)焼尻島に漂着し、その後英語指導者となり指導を受けた日本人は黒船来航の際、通訳として活躍しました。その漂着したアメリカ人の名前はなんと言うのでしょうか。焼尻島白浜には記念のトーテムポールが建っています。
- 問9 文政5年(1822年)樺太(現サハリン)の北方警備の任を終え帰藩途中、暴風雨のため船が焼尻に漂着しその際に死亡した藩士を追悼する墓がありますが、どの藩士の墓でしょうか。
会津藩士の墓
土佐藩士の墓
薩摩藩士の墓
- 問10 国内最高級品と言われる焼尻めん羊肉ですが、羊の種類は次のうちどれでしょうか。
コリデール
ホルスタイン
サフォーク
- 問11 羽幌炭鉱開坑は昭和15年12月ですが、閉山は何年でしょうか。
昭和35年11月
昭和45年11月
昭和55年11月
- 問12 上羽幌には索道用、羽幌本砒には国鉄名羽線(3.9km)を借り上げての機関車輸送用、築別炭砒は羽幌炭砒鉄道(16.6km)での機関車輸送で石炭を運んでいます。さて、貨車に石炭を積み込む施設は何と呼ばれていたでしょうか。
貯炭場(ホッパー)
運搬立坑
選炭工場
- 問13 羽幌本砒には運搬立坑跡が残っています。地上5階建、地下512mの本坑口があります。さて、昭和30年代当時17億円をかけて建設した運搬立坑は地上何メートルでしょうか。
3.94m
39.4m
394m
- 問14 築別炭砒には太陽小学校跡(旧緑の村)が残っています。校舎は昭和42年の完成ですが、昭和37年完成の体育館は当時としてはめずらしい形をしています。その形はどんな形でしょうか。
円形
三角形
五角形
- 問15 アカツメクサやシロツメクサ(クローバー)と呼ばれる植物がありますが、「ツメクサ」の意味はどれでしょうか。
物が壊れないように箱の中に詰めた草
花を摘み取って、首飾りや腕輪を作った摘める草
とがった花弁が動物の爪に似ているから
- 問16 ペニテングダケと呼ばれる美しいキノコがあります。これを食べるとどうなるでしょうか。
死ぬ
笑いが止まらなくなる
お酒の飲み過ぎに効く
- 問17 本来温暖系のスギが羽幌町築別9線に林分的広がりを持ち北限のスギとして学術上価値があることから、北海道自然環境保全条例によって学術自然保護林に指定されていますが、その指定された時期は次のうちどれでしょうか。
大正7年7月4日
昭和12年7月4日
昭和50年8月4日
- 問18 北限のスギ造成地の現在の所有者は次のうちだれでしょうか。
スギを植林した故齋藤浅吉家の後継者
北海道庁
民間会社の株式会社新宮商行
- 問19 昭和20年代の漁師が相手と呼び合う略称の屋号から、この屋号は何と呼ばれていたでしょうか。
マルキイチ
カネマルイチ
ダキヤマイチ
- 問20 羽幌町の山の象徴として親しまれ、幌加内町、遠別町、初山別村などの境界にもなっている山の名前はなんでしょうか。
ピッシリ山
テシオ岳
リシリ山

平成19年度 羽幌町 職員配置表

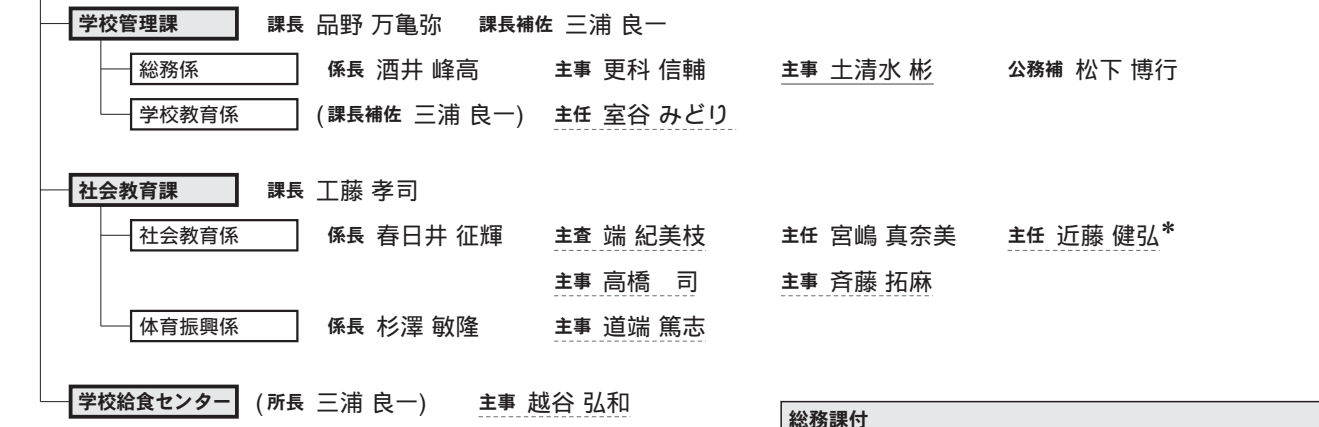
----- 4月1日異動者
 —— 新規採用者
 () 兼務・併任発令
 * 昇格者



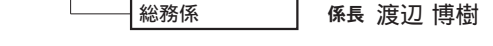
会計管理者 長谷川 一志



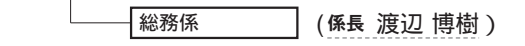
教育長 山本 孝雄



議会事務局 事務局長 伊勢田 正幸



監査委員 (室長 伊勢田 正幸)



選挙管理委員会 (事務局長 本間 幸広)



農業委員会 事務局長 荒井 光昭



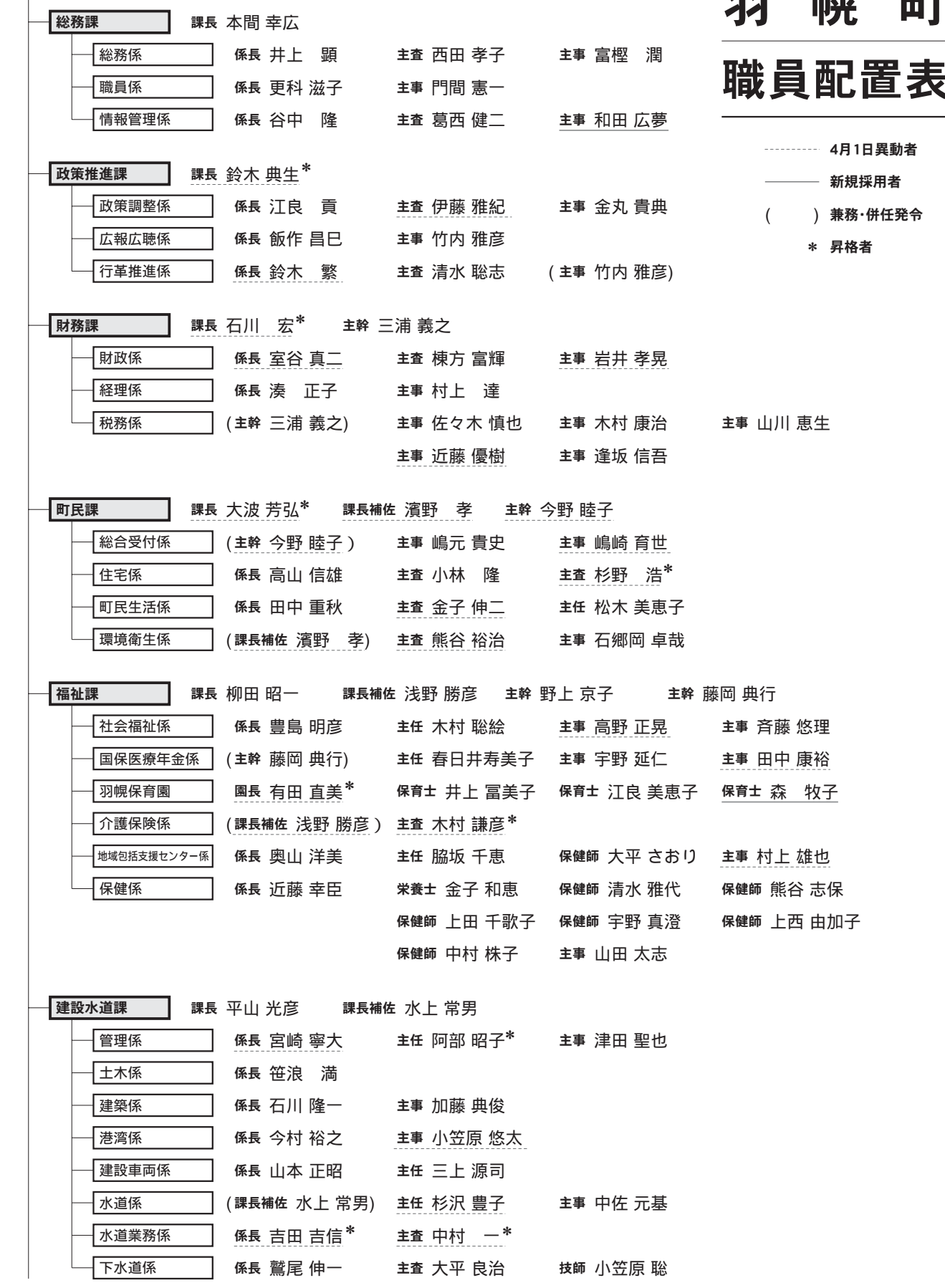
総務課付
松金 道弘

機構改正
社会教育課公民館事業係 ▶ 社会教育課社会教育係に統合
建設水道課水道施設係 ▶ 建設水道課水道業務係に改称

退職者(平成19年3月付)
小川 雅人 (政策推進課長)
鈴木 義勝 (町民課長)
岩井 広和 (建設水道課主任技師)
千田 日出夫 (農林水産課主幹)
小林 政利 (監査室主幹)
渡辺 和彦 (建設水道課水道施設係長)
中川 秀子 (福祉課羽幌保育園長)
木下 武 (商工観光課観光振興係主査)
堀井 捷子 (社会教育課公民館事業係主任)

町長 舟橋 泰博

副町長 松本 信裕





検討を開始します

羽幌町都市計画 マスタープラン

羽幌町では「羽幌町都市計画マスタープラン」の策定に向けた検討を始めます。都市計画マスタープランは将来にわたって住みやすいまちづくりを進めるため、町民のみなさんの意見を反映しながら計画を策定します。

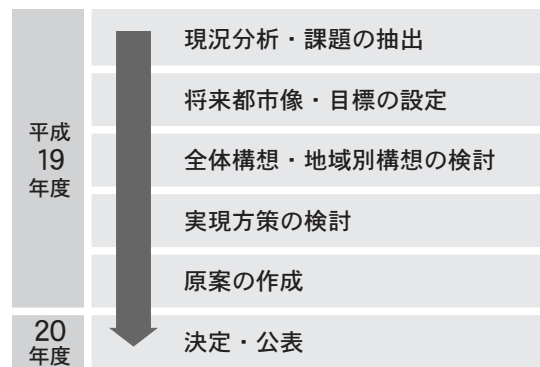
■ 都市計画マスタープランとは？

羽幌町の最上位計画である「羽幌町総合振興計画(ほっとプラン21)」をふまえた都市計画分野の計画です。

都市計画区域を主な対象区域とし、概ね20年後を目標とした計画とします。

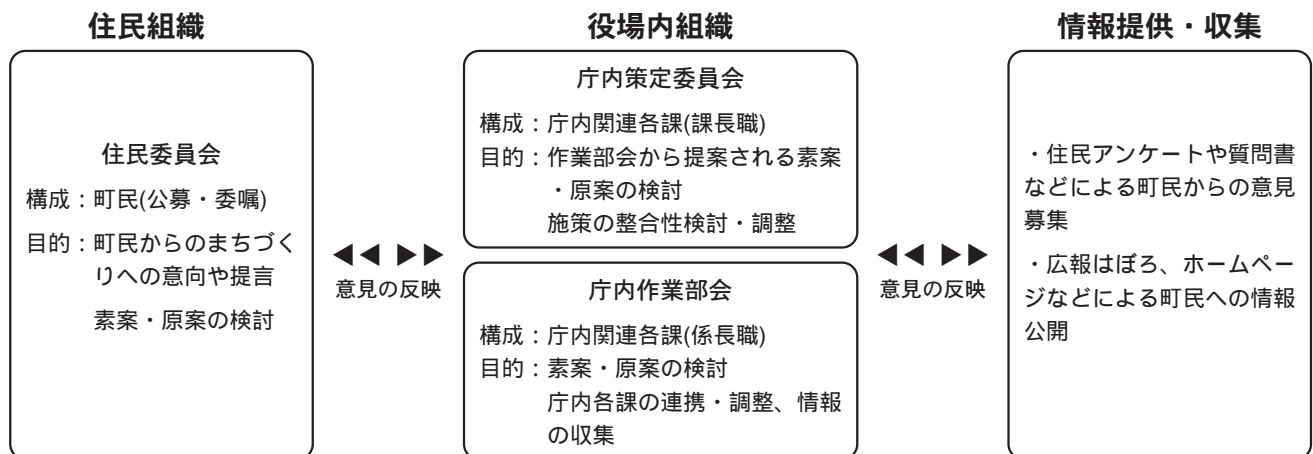
目指すべきまちの将来像を明らかにし、これに基づく土地利用、交通体系、水や緑、公共施設、景観、防災などの個々の基本方針を定め、具体的な施策へと反映していきます。

■ 策定の流れ



■ 策定の進め方

都市計画マスタープランの策定にあたっては、住民委員会を開催するほか、アンケートなどを実施することにより、町民のみなさんの意見を計画に反映していきます。また、庁内策定委員会と作業部会の開催により、他分野の計画や施策との整合、調整を図っていきます。



■ これからのうごき

これからの具体的なステップとして、町民のみなさんへアンケートの実施を予定しています。さらに、計画策定に関わる住民委員会の委員の募集も行いますので、詳しくは広報はぼろ5月号をご覧ください。

お問い合わせ：政策推進課政策調整係 ☎62-1211(内線224・225)



祖父母も読める育児コラム

赤ちゃんとお遊ぼう！

文=熊谷 志保(保健師)

広

報をお読みの団塊・シニア世代および育児のみなさん、こんにちは。

今月から5回にわたり子育て&孫育てとして、お父さん・お母さんにプラスして、経験豊かな祖父母のみなさんにも知って欲しい現代の育児事情をお伝えします。第1回目は「赤ちゃんとお遊ぼう！」と題して、赤ちゃんとの遊び方について掲載したいと思います。

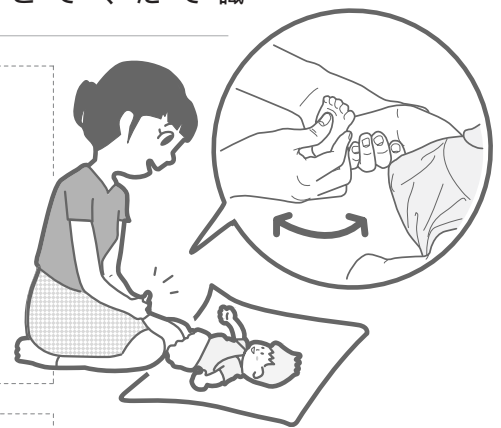
団塊・シニアのみなさんが子育てをしていた頃は兄弟や同居家族が多いこともあり、自然にたくさんあやしてもらったり親が無意識であっても赤ちゃんは人と遊んでいる時間があったようにおもいます。しかし最近では核家族が増えたため周りにいる人が意識しないと赤ちゃんの遊び時間は減り、人と関わりながら遊び成長するチャンスも少なくなってしまうのです。

したがって、首すわり 寝返り ハイハイ お座り つか

まり立ち ひとり歩きという成長の姿にあった形で、意識的に体を使った遊びを与えて欲しいと思います。「這えばたて立てば歩めの親心」とはよく言いますが、羽幌町の健診では先を急がず慌てずに、子どもの成長に合わせてその時期にじっくりと関わることを推奨しています。

社会が大きく変わった今も、母さんやお父さんは一生懸命に育児をしています。祖父母のみなさんも、親を急かさず成長に合わせてじっくり赤ちゃんとお遊べるようにサポートをよろしく願います。

今も昔も、子ども達が遊んでいる時に出す元気な笑い声は心を和ませるものです。この元気と活力を引き出すために、子どもが楽しいと思う気持ちや、子ども自身が遊ぶ力を十分発揮できる健康で力強い体を作れるよう、いくつか遊び方を紹介します。



あそびがた 1

うつぶせ遊び

腕の力や背筋・腹筋を育てます

大人も赤ちゃんの目線になるようにうつぶせになり、おもちゃを見せたり声を掛けたりします。手のひらはできるだけパーに開いてあげましょう。

あそびがた 2

仲良し体操

関節の柔軟性を保ち
転びにくい体をつくります

赤ちゃんを仰向けに寝かせ、童謡にあわせてリズムカルに関節を曲げたり伸ばしたりします。

あそびがた 3

ハイハイ遊び

全身の筋力とバランス感覚、欲しいもの
を見つけて追う意欲や注意力が育ちます

大人と追いかけてこしたり、ボールやおもちゃを転がして追いかけます。近い距離から始めて、慣れてきたら遠くしたり何かでトンネルを作ったり変化をつけて遊びましょう。

あそびがた 4

タオルブランコ

上下左右に揺られることで、
バランス感覚が豊かになります

バスタオルに赤ちゃんを乗せ、両端を大人がしっかり持ち軽くゆさぶります。楽しそうなら少し大きく揺らしたり、不規則にゆさぶったり変化を持たせましょう。

☑このほかにも乳幼児健診などの機会にいろいろな遊び方をご紹介します。詳しくはすこやか健康センターの保健師までご相談ください。

地産地消レシピ | カレイのソテートマトソース



[塩分 1.1 g / エネルギー 160 kcal]

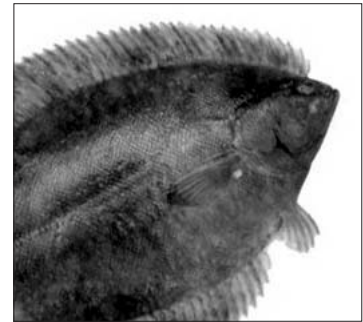
【材料：2人分】

カレイ	2切れ	
塩・こしょう	少々	
オリーブオイル	小さじ2	
パセリのみじん切り	少々	
バルサミコ酢または黒酢	適量	
トマト	1/2個	トマトソ - ス
にんにく	少々	
オリーブオイル	大さじ1/2	
塩	少々	
しょうゆ	少々	

【作り方】

- 1 カレイはキッチンペーパーで水気を取り、塩・こしょうをする。
- 2 トマトは皮を湯むきし、あらみじんに切る。
- 3 にんにくはみじん切りにする。
- 4 フライパンにオリーブオイルを熱し、カレイを皮がパリッとなるように両面焼き、皿に盛り付ける。
- 5 同じフライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ火にかけ、にんにくの香りがでてきたら、トマトを加え炒め、塩としょうゆで味付けする。
- 6 カレイの上にトマトソースをかけ、パセリのみじん切りをふる。
- 7 好みでバルサミコ酢または黒酢をかける。

今月の素材



カレイ

今 回の食材はカレイです。カレイはマガレイ、ナメタ、クロガシラなど種類も多く、煮付けやから揚げ、刺身などいろいろな料理でみなさんの食卓にもよく登場する魚ではないでしょうか。

普段は和風の味付けをすることが多いと思いますが、今回はトマト、オリーブオイル、にんにくを使ってイタリア風にしてみました。ソテーやから揚げなど油を使った料理だとエネルギーのとりすぎが気になる方もいるかもしれませんが、カレイなどの白身魚は脂質が少なく低エネルギーなので、油を使っても思ったほどエネルギーは高くなりません。今回はそのまま焼きましたが、小麦粉をつけてムニエルにしてもおいしいと思います。

また、すでに各町内会にお知らせしていますが、4~6月に市街地区の町内会婦人部を対象とした栄養教室を開催します。婦人部で話し合いの上、希望する場合はすこやか健康センター栄養士までお申込みください。

このほかのレシピは羽幌町ホームページにも掲載しています ☑ <http://www.town.haboro.hokkaido.jp/>

今月の新刊 | books.

中央公民館図書室の新刊の一部を紹介しています。蔵書は羽幌町ホームページで検索することができます。図書室はどなたでも自由にご利用いただけます。初めての方もぜひ、ご来室ください。



一般書

鈍感力

渡辺 淳一 著

駆け込み、セーフ？

酒井 順子 著

夢を与える

綿矢 りさ 著

橋ものがたり

藤沢 周平 著

ひまわりのかっちゃん

西川 つかさ 著

四文字の殺意

夏樹 静子 著

ラスト・イニング

あさの あつこ 著

アンフェアな月

秦 建日子 著

うりずん

吉田 修一 著

ミハスの落日

貫井 徳郎 著



ひとり日和

青山 七恵 著

東京で暮らせるのであれば、なんだったよかった。20歳の知寿が居候することになった遠い親戚の71歳の吟子さんの家。ふたりが暮らした春夏秋冬をとおして、ヒロインの自立をしなやかに描く。芥川賞受賞作。



凍(しば)れるいのち

川嶋 康男 著

昭和37年12月、北海道学芸大学函館分校山岳部のパーティー 11名は大雪山縦走を目指した。しかし、部員10名は遭難・死亡。帰還したのはリーダーただひとりだった。45年間の沈黙を破り、遭難事故の全貌に迫る。



戦場のニーナ

なかにし 礼 著

私は何処から来たの？私は誰？ロシアで見つけた、ただひとりの日本人残留孤児。満州、ソ連、日本……。60年の時を経て、戦争で損なわれた「私」を探す旅がはじまる。

児童書

ももんがモンちゃん

とりごえ まり 著

くまのしんぶんきしゃ

いもと ようこ 著

ふしぎなおきやく

岡本 颯子 著

はじめての文学 村上龍

村上 龍 著

「おめでとう」をいっぱい

宮川 ひろ 著

おりがみでおみせやさん

いまい みさ 著

ソラマメの絵本

こぐれ きよし 著

どこ？

山形 明美 著

エルマーとゼルダおばさん

デビッド・マッキー 著

なまえをみてちょうだい

あまん きみこ 著



クロス・ステッチ

イルゼ・ブラッシ 作

1958～1966年発行の「刺繍」全10巻と「ヨーロッパのクロス・ステッチ」全3巻を紹介したイルゼ・ブラッシ女史のデザインをモチーフに再現した作品を収録。ステッチの刺し方と作り方も詳しく解説します。

あざらしおはなし会 5月12日(土) 午後2:00から
図書室で本の読み聞かせをしています。
だれでも参加できます。おともだちと来てね。



各学校の入学式が行われ、桜の開花予想の話題も聞かれるようになり、いよいよ春の訪れですね。真新しいランドセルを背にピカピカの一年生が元気に登校する姿は見ていて自然と微笑んでしまいます。雪もほとんど無くなり、子ども達も活発に外出する季節になりました。車を運転される方はくれぐれも交通事故にご注意願います。

☎ 0164-62-1211(代表)
🌐 <http://www.town.haboro.hokkaido.jp/>
✉ seisaku@town.haboro.hokkaido.jp

お知らせ

きれいな町づくりにご協力を

雪解けで道路や自宅周辺のごみが目立つ時期となりました。きれいな町づくりのため地域のみなさんでごみ拾いのご協力をお願いします。また、雪解けなどの地盤のゆるみでごみステーションが傾いていませんか？ごみステーションの管理は各町内会にお願いしています。強風などで倒れることのないよう今一度点検をお願いします。

- 自宅周辺のごみを拾うなど、身の回りからきれいにしましょう。
- 町内会や各団体、ボランティアのみなさんのご協力をお願いします。町内会の地域清掃活動へのごみ袋配布は、後日町内会長に連絡します。清掃ボランティアをしていただけたときは連絡事項などがありますので、事前に連絡をお願いします。

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 62-1211(内線106)

行政サービスコーナーをご利用ください

役場まで足を運ばなくても、住民票の発行や税金の納付などができます。お買い物のついでに、どうぞご利用ください。

- 場所 ハートタウンはぼろ1階
開設日 月曜日～金曜日の午後1:00～4:00まで
休業日 第1・第3火曜日及び役場の閉庁日
取扱い業務
- ・印鑑証明、住民票謄抄本の交付
 - ・税、税外収入の収納
 - ・所得証明などの税務証明書の交付
(所得証明、納税証明、土地建物評価証明)
 - ・簡易な申請書、各健診の申込書の取次ぎなど
 - ・公民館図書返却
 - ・各種行政情報の提供
 - ・インターネットによるホームページ閲覧



お問い合わせ
町民課総合受付係 ☎ 62-1211(内線101)

第1期狂犬病予防注射のお知らせ

犬を連れてくるときは、首輪・口輪等をしっかりとつけて犬に慣れた方が連れてきてください。飼い主が押さえることができない犬は予防注射を受けられない場合があります。

なお、当日は大変混み合いますので犬の登録をされている方は、役場から送付された「はがき」を持参してください。犬の登録をしていない方は、メモ用紙に「飼主住所・氏名・電話番号・犬の種類・毛色・性別・生年月日・犬名・犬の特徴」を書いて持参してください。

注射料金 3,040円(毎年1回)
訪問料 600円(戸別訪問希望者のみ)
登録料 3,000円(犬の生涯に1回)

5月8日(火)	
午前10:00～10:20	築別郵便局
午前10:30～11:00	旧築別中学校
午前11:20～11:40	曙生活館
午後1:30～2:00	朝日集会所
午後2:10～3:00	中央集会所

5月9日(水)	
午前10:00～10:50	川北老人福祉センター
午前10:55～11:35	若葉団地(公営住宅)
午後1:00～1:40	北町集会所
午後1:45～2:25	羽幌町水道浄水場
午後2:30～3:00	福寿川・相合橋(南4条通側)

5月10日(木)	
午前10:00～10:20	栄町南団地集会所
午前10:25～11:00	栄町コミュニティセンター
午前11:05～11:50	南町集会所
午後1:00～1:50	幸町南集会所
午後2:00～3:00	旧漁協会館

5月11日(金)	
午前10:00～11:00	羽幌町役場
午前11:05～11:50	消防署
午後1:00～	戸別訪問 ※事前申込が必要

犬の転居、譲渡、死亡などの場合には、鑑札及び印鑑を持参して、手続きをしてください。

お問い合わせ
町民課環境衛生係 ☎ 62-1211(内線106)

ほっと号がメロディバスに!

町民のみなさんの気軽な移動手段としてご利用いただいている町内循環バス「ほっと号」に、「サンタほっと号」、「定期券」に続く新企画第3弾として、「メロディバス」が登場します。ほっと号から流れる心地よいメロディが道行く人を和ませ、まち中に安らぎを運びます。また、このメロディがバス接近の合図となって、ほっと号の特徴であるフリー乗降の利便性をいっそう高めめます。ぜひご利用ください。

運行開始 5月1日(火)



お問い合わせ
沿岸バス本社ターミナル ☎ 62-1550

羽幌郷土資料館・焼尻郷土館オープン

羽幌郷土資料館
アンモナイトを多数含んだ珍しい化石など世界的に貴重な化石や炭鉱の資料なども展示しています。

開館期間 5月1日(火)～10月30日(火)
開館時間 午前10:00～午後4:00
休館日 毎週月曜日(月曜が祝日の場合は火曜日)
入館料 210円(高校生以下無料)

焼尻郷土館(旧小納家)
和・洋建築の珍しい建物です。北海道指定有形文化財に指定されています。

開館期間 5月1日(火)～8月31日(金)
開館時間 午前9:00～午後4:00
休館日 なし
入館料 一般 310円(高校生以下無料)
団体(15人以上) 250円



お問い合わせ
社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

萌える天北オロロンルート④

「手をつないだらここが一番!見えてきた」

3月11日(日)にフォトコンテスト表彰式を行いました。

ラルズプラザ留萌店で表彰式が行われました。

萌える天北オロロンルート
運営代表者会議事務局
TEL42・3871 FAX42・2200
e-mail⇒tenpoku-ororon@moeru.fm
blog ⇒<http://fine.ap.teacup.com/moetenororon/>

苦前町で開催される「桜まつり」を紹介!します。

▼「萌える天北オロロンルート」フォトコンテスト
3月11日(日)にフォトコンテスト表彰式を行いました。皆さんのマチで巡回展示会を開催します。

▼日時 平成19年5月13日(日) 午前9時(予定)

▼場所 古丹別緑ヶ丘公園
■問合せ 桜まつり実行委員会
田口 TEL 65・3311

5月の桜前線に合わせ、桜やツツジ約千本が開花する公園内で地元よさこいチームの演舞や子供舞踊、カラオケ大会や歌謡ショーなどが開催されます。

会場内には特産品のジンギスカンの販売や町内の各商店・団体など多数出店しています。また、花木の即売会も併せて開催します。

皆さん、足を運んでみて下さい。

！ 移動芸術鑑賞バスツアー

空海マンダラ ～弘法大師と高野山～

「世界遺産の霊場高野山の秘法今ここに…」
高野山の諸寺院に伝わる国宝18点、重要文化財56点を含む総計100点の作品を紹介します。日本美術を語るうえで欠かせない第一級の美術品が多数出展されるまたとない機会です。どうぞお見逃しなく！

期日 5月13日(日)
場所 北海道立近代美術館(札幌市)
日程 ・午前7:30 中央公民館前集合、出発
・正午 道立近代美術館到着、鑑賞(鑑賞に説明員はつきません)
・午後3:00 道立近代美術館出発
・午後7:30 中央公民館到着

対象 小学生以上の町民(小学生は保護者同伴)
参加料 無料(入館料及び昼食代は自己負担)
入館料 一般 1,000円 高校生 600円 小中学生 400円
申込期限 5月7日(月)まで
募集人数 40名
応募多数の場合は抽選とします。また、10名に達しない場合は中止します。

申込・お問い合わせ
社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

募集

！ 調理師試験受験者の募集

平成19年度の調理師試験が次のとおり実施されます。受験を希望される方はご応募ください。なお、試験会場や申し込み方法などの詳細はお問い合わせください。

試験日 8月29日(水)
試験地 滝川市
受験資格 義務教育を受けた者で、多数人に対して飲食物を調理して提供する施設または、食品衛生法施行令第5条第1号の飲食店営業などにおいて平成19年6月1日までに2年以上の調理の業務に従事した者。
申込期間 5月7日(月)～6月1日(金)
手数料 6,700円(相当額の北海道収入証紙)

お問い合わせ
留萌保健福祉事務所保健福祉部子ども・保健推進課
☎ 0164-42-8326

イベント・行事

！ 人権地域啓発活性化事業 家庭教育講演会

テーマ「大谷流ココロの元気の作り方」

「子ども？家庭？」ってどうやねん！
横山やすしに信頼された「伝説のマネージャー」が長女出産後、企画会社を起こし「子ども」「家庭」「会社」に振り回され、山ほどのつまづきや失敗を経て、やっと「自分らしく生きていく」ということが何となくわかってきたという大谷由里子氏が家庭教育をテーマに、関西人らしい圧倒的パワーで講演会場に元気をつくりだします。



日時 5月14日(月) 午後7:00
場所 中央公民館大ホール
講師 (有)志縁塾 代表取締役、人材活性プロデュサー 大谷 由里子 氏
入場料 無料
託児を希望される方は5月9日午後3時までにご予約ください。(定員15名)

申込・お問い合わせ
社会教育課社会教育係 ☎ 62-5880

！ しかけ絵本を展示します

ページを開くとイラストが飛び出す絵本を集めた、「しかけ絵本展」を開催します。北海道立図書館資料である60冊を一堂に展示します。みなさんどうぞ図書室に足を運んでください。

期間 4月20日(金)～5月7日(月)
29日(日)は休館のためお休みです
場所 中央公民館図書室

お問い合わせ
中央公民館図書室 ☎ 62-1178

！ 3月の交通事故・消防に関するお知らせ

羽幌警察署並びに消防署から3月における各件数などのお知らせです。
行楽シーズンがやってきます。遠出をする機会が多くなるこの時期、心と時間にゆとりのある運転を。

交通事故情報

区分	当月	(1月からの累計)
発生件数	0件	(1件)
死者	0人	(0人)
負傷者	0人	(1人)

消防情報

区分	当月	(1月からの累計)
救急出動	39件	(106件)
搬送人員	40人	(104人)
火災件数	0件	(1件)
損害額	0千円	(1千円)
死者	0人	(0人)
負傷者	0人	(0人)

！ お風呂の無い家庭は入浴が割引されます

羽幌町ではお風呂の無いご家庭に、いきいき交流センターの入浴割引券をお渡ししています。

対象者 羽幌町に住所があり、お住まいにお風呂の無い方(間借り・アパート・借家を含みます)
必要なもの

- ・健康保険証などの身分を証明できるもの
- ・印鑑(シャチハタ印は使えません)

申込先 役場1階 総合窓口

有効期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日まで

入浴料金割引額

- ・大人(中学生以上) 160円(利用者負担額 390円)
- ・小人(小学生以下) 210円(利用者負担額 70円)
- 乳幼児(3歳以下)は無料です。

注意点

- ・お風呂が故障して使えない場合は対象となりません。
- ・割引券は本人以外使用できません。
- ・確認のため、職員がお住まいに伺う場合があります。
- ・4月を過ぎて申込みをされた場合は、過ぎた月分の枚数を差し引いてのお渡しとなります。

お問い合わせ
町民課町民生係 ☎ 62-1211(内線113)

！ 税金などの納め忘れはありませんか？

新年度に入り、お手元へ新たに税金や各種使用料の納入通知書が送付される時期となりました。ご承知のとおり、町税収入などは福祉サービスの向上や普段利用している公共施設の維持管理など、さまざまな場面でみなさんが安心して快適に暮らせる社会を実現するための貴重な財源として、非常に重要な役割を果たしております。そこで今一度、納め忘れなどがないか、ご確認をお願いします。



納入通知書の確認

- ・毎月納付だけ1回分だけ残っていた
- ・引き出しや書類の間にまぎれていた

口座振替通帳の確認

- ・残高不足のため引き落としされていなかった

お問い合わせ

財務課税務係 ☎ 62-1211(内線256)

！ 特別慰労品を贈呈します

恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者の皆様へ

旧軍人等で恩給等を受けていない恩給欠格者、戦後ソ連やモンゴルに強制抑留された方、終戦に伴い本邦以外の地域から引き揚げてこられた方「ご本人」に、あらためて慰藉の念を表すため、内閣総理大臣名の「特別慰労品」を贈呈します。過去に内閣総理大臣名の書状等を受けた方、書状等の請求をしなかった方も対象です。

請求期間 平成19年4月1日～平成21年3月31日
請求書類 福祉課社会福祉係にあります

お問い合わせ

独立行政法人 平和祈念事業特別基金
☎ 0120-234-933
ホームページ：http://www.heiwa.go.jp/

税金や公営住宅などの各使用料の納入は簡単便利な口座振替をぜひご利用ください！

来月の納税出張窓口
5月28日(月) 午前9:15～午後4:00
川北老人福祉センター ☎ 62-1424

5月の保健カレンダー

あいあいサークルを除き、対象となる方にはお手紙で通知しています。あいあいサークルの参加を希望される方は、事前に電話でお申し込みください。

日程	事業	受付・実施時間	会場
9日(水)	あいあいサークル	午前9:45～	健康センター
12日(土)	乳がん・子宮がん検診	午前9:00～	健康センター
13日(日)	乳がん検診	午前9:00～	健康センター
14日(月)	母くらぶ	午前9:30～	健康センター
15日(火)	1歳6カ月児健診	午後0:30～	健康センター
16日(水)	乳児健診	午後2:00～	健康センター
22日(火)	大腸がん検診	午前9:00～	健康センター
22日(火)	離乳食教室	午前10:30～	健康センター
23日(水)	ポリオ予防接種	午後3:00～	健康センター
30日(水)	あいあいサークル	午前9:45～	健康センター
31日(木)	母くらぶ	午前9:30～	健康センター

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

乳幼児健診の実施方法が変わります

今まで実施していました「乳児健診」「1歳6カ月児健診」「3歳児健診」の実施方法が変わり、小児科医師診察のみ後日行うこととなります。詳細については、対象者宛に直接通知いたします。みなさまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。なお、年間日程は先に配布した「羽幌町保健事業予定表(子どもの健康づくり編)」でご確認ください。

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

5月の救急当番医

道立羽幌病院については土・日曜日及び祝祭日を含め、救急診療を行っています。

20日(日) 苫前クリニック
(苫前町字苫前)
☎ 64-9070



健康相談

保健師と栄養士による健康相談です。町内在住の方なら誰でも利用できます。毎回体重・体脂肪測定、血圧測定、健康の話をしています。

期日 5月28日(月)
運動 軽い運動を予定しています。
会場 川北老人福祉センター(午前10:00～午前11:30)
すこやか健康センター(午後1:00～午後3:00)
健康手帳をお持ちの方は、ご持参ください。

お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

健康

温泉活用健康増進事業

テーマ「頭の体操」

外出する機会の少ない高齢者のための健康教室です。今回は保健師による頭の体操と題して、講話と軽い運動を行います。気軽に楽しみながらできますので多数ご参加ください。無料送迎バスも運行しますので、ご利用の方は申し込みの際にお知らせください。

日時 5月29日(火) 午後1:30から
会場 はぼる温泉サンセットプラザ
参加料 入浴料 550円(回数券・割引券使用可)
対象者 65歳以上で温泉入浴に支障の無い方
申込期限 5月22日(火)まで

送迎バス運行時刻

午後1:05	栄町南団地バス停前
午後1:08	栄町団地バス停前(旧道立病院)
午後1:10	東出商店前(幸町)
午後1:15	沿岸バス羽幌ターミナル前(旧駅)
午後1:17	喫茶店イフ前(南大通3)
午後1:20	朝日生命前(南大通1)

申込・お問い合わせ 福祉課保健係
すこやか健康センター内 ☎ 62-6020

相談

行政相談

行政についてわからないことなどがあれば、お気軽にご相談ください。相談内容の秘密は厳守されます。

日時 5月8日(火) 午前9:00～正午
会場 役場会議室
行政相談員 弓庭 登 氏
相談例

- ・苦情がある、困っていることがある
- ・苦情を申し出たが、説明や措置に納得がいかない
- ・手続き、サービスなどで制度や仕組みがわからない
- ・苦情や困っていることについて、どこに相談してよいかわからない

お問い合わせ 町民課総合受付係 ☎ 62-1211(内線101)

年金相談

年金の加入状況の確認、納付書や年金手帳の再発行依頼など年金に係る相談を受け付けています。請求の際には、印鑑や通帳等必要なものがありますので、事前にお問い合わせすることをおすすめします。

日時 5月10日(木) 午前10:00～午後4:00
会場 役場4階 大会議室

お問い合わせ
留萌社会保険事務所 ☎ 0164-43-7211

心配ごと相談

羽幌町社会福祉協議会では、住民のみなさんの心配ごとへの対応として、心配ごと相談所を毎月1回開催しています。どうぞお気軽にご利用ください。

日時 5月21日(月) 午後1:30～午後4:00
会場 勤労青少年ホーム
相談員 秋山 俊一 氏

お問い合わせ 羽幌町社会福祉協議会 ☎ 69-2311

平成19年度自衛隊一般幹部候補生等募集

次のとおり平成19年度の自衛隊一般幹部候補生を募集します。受験資格など詳細はお問い合わせください。

(一般幹部候補生・海上技術幹部候補生)
資格 22歳以上26歳未満の方
締切 5月11日(金)まで
試験日 5月19日(土)
試験科目 筆記試験(一般教養・専門)

(歯科幹部候補生)
資格 20歳以上30歳未満の方
大学において歯学課程修了(見込み含む)
締切 5月11日(金)まで
試験日 5月19日(土)
試験科目 筆記試験(一般教養・専門)

(薬剤科幹部候補生)
資格 20歳以上26歳未満の方
大学において薬学課程修了(見込み含む)
締切 5月11日(金)まで
試験日 5月19日(土)
試験科目 筆記試験(一般教養・専門)

(医科・歯科幹部自衛官)
資格 専攻学科、経験年数、免許などの条件あり
締切 5月11日(金)まで
試験日 5月25日(金)
試験科目 筆記試験(小論文)、口述試験及び身体検査

(海上自衛隊技術幹部)
資格 専攻学科、経験年数、免許などの条件あり
締切 5月25日(金)まで
試験日 7月3日(火)
試験科目 筆記試験(一般教養・小論文)
口述試験及び身体検査



申込・お問い合わせ
旭川地方協力本部留萌地域事務所 ☎ 0164-42-4650

人のうごき

平成19年3月届出分を掲載(希望者のみ)

おたんじょう

畠平 侃^{かん}くん (諭・しおり) 北町
遠藤 琥珀^{こはく}くん (鉄雄・千亜紀) 栄町

ごけっこん

村上 卓^{たく}さん 伊藤 美穂^{みほ}さん 栄町

おくやみ

本間 リツ^{りつ}さん 80歳 南4の2
眞鍋 明夫^{あきお}さん 75歳 南5の4
山岡 金治郎^{きんじらう}さん 91歳 南5の6
有野 ハルエ^{はるえ}さん 89歳 曙



今月の表紙

飛翔の島 (写真:加藤 興一氏)
第2回二島物語フォトコンテスト 富士フィルム賞作品

昨年始まったはぼろ学講座が、はぼろ検定を最後に全日程を終了。取材を兼ねて受講していた広報担当も挑戦してみましたが、なんとか合格することができました。

「羽幌ってどんな町？」—町外に住む方からこんな質問を受けたときに、あなたならどう答えますか？「何もない町だよ」と返す方が意外と多いのではないかと思います。もちろん、この言葉には謙遜の意味も含まれているとは思いますが、羽幌に住む私たちは羽幌の本当の魅力をどれだけ知っているのでしょうか。もしかしたら「何もない町」のではなく「何も知らない」だけなのかもしれません。そんな私自身も羽幌生まれの羽幌育ちですが、この講座を通じて初めて知ることになった事実の数々に毎回驚か

編集後記

されました。若干の身びいきを否定しませんが、羽幌には語られるべき歴史や伝えられるべき魅力が豊富に存在しており、それは他のまちと比べても決して見劣りするものはありませんでした。そして「何もない町なんてどこにもない」という当たり前の事実を再確認することになったのです。

町の広報部門は羽幌を訪れる方や羽幌に興味を持った方に羽幌の魅力を伝えるということが仕事でもあります。しかし、それ以上に羽幌で暮らすみなさんに、羽幌の良さをもっと知っていただくことも大切な役割なのではないかと考えています。羽幌に住む私たちにとっては、存在があまりに身近すぎてその魅力の本質に気付くことができなくなっているかもしれないからです。(T)

人口と世帯数(3月末)

人口	8,726人	(-60)
男	4,126人	(-34)
女	4,600人	(-26)
世帯数	3,987世帯	(-22)

()は前月比

